

イチゴ低温カット栽培に適する高設栽培槽と施肥法

【1 成果概要】

- (1) 北の輝の低温カット栽培では、肥効調節型肥料 180 日タイプを用いた場合、1 株当たり窒素成分 2 g を施用する事で、**全量基肥栽培**が可能となります。
- (2) 高設栽培の様式は、低コストなハンモック式栽培槽が適します。
- (3) 高設栽培により、単位面積当たりの**株数が約 5 割増加**します。
- (4) 単位面積当たりの**収量、収益性が向上**します。

【2 効果】

- (1) 緩行性肥料の全量基肥施肥により、高価な点滴灌水施肥装置が不要となります。
- (2) 不織布を使ったハンモック式栽培槽と組み合わせることで、低コストで高設栽培槽が導入可能となります。
- (3) 高設栽培を導入することで、作業改善につながります。
- (4) 定植株数は地床栽培で 1a 当たり 571 株ですが、ハンモック式高設栽培では 1a 当たり 870 株と約 5 割増加するため、単位面積当たりの収量、収益性が向上します。

【3 留意事項】

- (1) 肥効調節型肥料は定植前に表土と混和しておきます。
- (2) 低温期のかん水は、配管、ポンプなどの凍結に気をつけます。

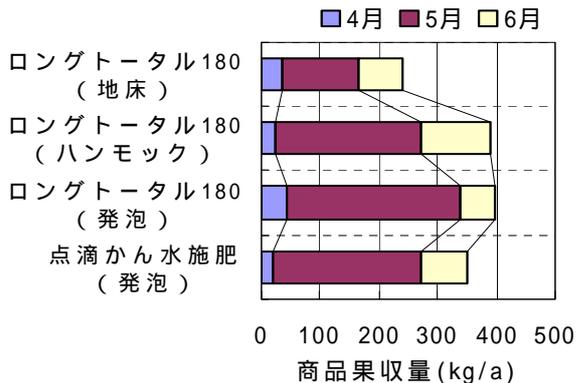


図 施肥法と栽培槽の違いによる商品果収量
 点滴かん水施肥：窒素成分 3.1g/株
 定植～開花前 OKF-1、開花以降 OKF-3
 エコロングトータル 313-180 日タイプ：窒素成分 3g/株
 栽植密度：高設栽培 870 株/a 地床栽培 571 株/a

表 10a 当たり収益性(千円/10a)

	単位	地床	高設
収量	kg	2,500	3,295
単価	円/kg	1,003	1,003
粗収益	千円	2,509	3,307
変動費	千円	790	1,411
固定費	千円	756	792
所得	千円	963	1,103

注)生産技術体系(2005)より改変。高設栽培装置等の使用(耐用)年数は5年、配管灌水資材は3年として試算。

【4 適応対象】

- 1 地域
 県央、県南、沿岸部地域
 (低温カット作型が導入されている地域)
- 2 対象者
 (1) 低温カット栽培を行っているいちご生産者
 (2) 高設栽培を低コストで導入したい方

【5 導入コスト】

高設栽培装置導入時の初期費用(千円/10a)

資材名	従来型 発泡スチロール式	低コスト型 ハンモック式
点滴かん水装置	997	202
栽培槽、固定具	654	293
ベンチ棚資材	1,459	1,278
配管灌水資材	480	480
計	3,590	2,253

注) 低コスト型：全量基肥施肥により液肥混入機を使用しない点滴かん水方式